

業 績 目 録（令和5年）

大学院科目名：リハビリテーション医学

(A-a) 英文著書

なし

(A-b) 和文著書

- 1 総編集 西村行秀，編集 久保俊一，田島文博，高橋史朗：〈厚生労働省科学研究補助金 長寿科学政策研究事業〉介護領域で役立つリハビリテーション医学・医療のエッセンスを用いたリハビリテーション手技，岩手医科大学医学部リハビリテーション医学，岩手，2023.
- 2 総編集 三上幸夫，編集 西村行秀，尾川貴洋，幸田 剣，河崎 敬，編集協力 久保俊一：介護領域のリハビリテーション手法手引き書，日本リハビリテーション医学教育推進機構，京都，2023.
- 3 三上靖夫：第10章骨・関節疾患 A 頸椎，標準リハビリテーション第4版，pp298-301，医学書院，東京，2023.
- 4 三上靖夫：第10章骨・関節疾患 B 胸腹椎，標準リハビリテーション第4版，pp302-304，医学書院，東京，2023.
- 5 河崎 敬：内部障害，改正版 障がいのある人のスポーツ指導教本（初級・中級）2020年改訂カリキュラム対応（（公財）日本障がい者スポーツ協会），pp85-89，ぎょうせい，東京，2023.
- 6 久保俊一：Ⅰ概論 1. リハビリテーション医学・医療総論，リハビリテーション医学・医療における処方作成テキスト（総編集 久保俊一，編集 角田 亘），pp3-10，医学書院，東京，2023.
- 7 河崎 敬，三上靖夫：Ⅱリハビリテーション処方における治療 1. 運動機能に対する訓練 4 筋力増強訓練（主に下肢体幹に対する），リハビリテーション医学・医療における処方作成テキスト（総編集 久保俊一，編集 角田 亘），pp27-29，医学書院，東京，2023.
- 8 河崎 敬，三上靖夫：Ⅱリハビリテーション処方における治療 1. 運動機能に対する訓練 5 基本動作訓練，リハビリテーション医学・医療における処方作成テキスト（総編集 久保俊一，編集 角田 亘），pp29-30，医学書院，東京，2023.
- 9 河崎 敬，三上靖夫：Ⅱリハビリテーション処方における治療 1. 運動機能に対する訓練 6 移乗訓練，リハビリテーション医学・医療における

処方作成テキスト（総編集 久保俊一，編集 角田 亘），pp30-31，医学書院，東京，2023.

- 10 三上靖夫：I. 総論 4. リハビリテーション診療 3. リハビリテーション治療 リハビリテーション治療のポイント，リハビリテーション医学・医療コアテキスト 第2版（総編集 久保俊一，編集 角田 亘，佐浦隆一，三上靖夫），医学書院，東京：pp91-92，2022.
- 11 菱川法和，八木範彦：歩くための適切な運動の方法，最新知識と事例がいっぱいリウマチケア入門（編集 神崎初美，三浦靖史），pp177-183，メディカ出版，東京，2023.

(B-a) 英文総説

なし

(B-b) 和文総説

- 1 久保俊一．リハビリテーション医学・医療の教育について．日本慢性期医療協会誌，31：26-32，2023.
- 2 島原範芳，佐藤信治，菱川法和，遠山将吾，佐浦隆一．高齢関節リウマチ患者に対するリハビリテーション治療，その課題と展望．Geriatr Med，61：315-319，2023.
- 3 島原範芳，佐藤信治，菱川法和，遠山将吾，澤田直哉，奥田恭章，大西誠．【わが国のこれからを展望する I】関節リウマチ患者に対するこれらの理学療法を展望する．理学療法，40：42-48，2023.
- 4 白石裕一，喜多郁果，上島大輝，山端志保，的場聖明，三上靖夫．【骨脆弱性とリハビリテーション診療－脆弱性骨折からがんの転移まで－】心不全と骨粗鬆症．MED REHABIL 283：48-54，2023.
- 5 白石裕一，山端志保，喜多郁代，上島大輝，山名麻衣，浦出 華，三上靖夫，的場聖明．【運動療法・食事療法のエッセンス】循環器 心不全の運動療法・食事療法．治療 105：566-572，2023.
- 6 白石裕一，山端志保，喜多郁代，上島大輝，山名麻衣，浦出 華，三上靖夫，的場聖明．【心不全の栄養管理－急性期から在宅までの最新情報】心不全患者の栄養と食事摂取量の意義．臨栄 143：30-35，2023.
- 7 白石裕一，山端志保，喜多郁代，上島大輝，山名麻衣，三上靖夫，的場聖明．リハビリテーション治療中のリスクに備える医療機器管理 心疾患治療中の機器管理．J Clin Rehabil 32：894-898，2023.
- 8 白石裕一，的場聖明，三上靖夫．【新時代の循環器リハビリテーション医療のエビデンス】不整脈と循環器リハビリテーション．Jpn J

Rehabil Med 60 : 304-312, 2023.

- 9 白石裕一, 的場聖明, 三上靖夫. 【リハビリテーション診療 update】
(IV 章) リハビリテーションが必要となる疾患 循環器疾患 デバイス
植え込み後の心臓リハビリテーション. 日医師会誌 152 : S196-197,
2023.
- 10 菱川法和, 遠山将吾, 三上靖夫. 【関節リウマチのリハビリテーション
診療 update】関節リウマチの足部障害に対する装具療法. MED REHABIL
288 : 66-71, 2023.
- 11 三上靖夫. サルコペニア・フレイルに対するリハビリテーション診療.
京都医会誌 70 : 71-73, 2023.
- 12 三上靖夫. リハビリテーションの最前線 リハビリテーション医療の
現在と未来. 日臨整誌 48 : 55-60, 2023.

(C-a) 英文原著

- 1 Asaeda M, Mikami Y, Nishimura Y, Shimokawa T, Shinohara H, Kawasaki T, Kouda K, Ogawa T, Okawa H, Uenishi H, Kuroda R, Mikami Y, Tajima F, Kubo T. A cross-sectional survey of consistent rehabilitation through long-term care insurance in Japan: a questionnaire survey. Ann Med Surg (Lond) , 85: 17-23, 2023. (IF=1.7)
- 2 Hishikawa N, Sawada K, Shono S, Sakurai M, Yokozeki M, Maeda H, Ohashi S, Ueshima K, Mikami Y. Accurate diagnosis of sarcopenia without using a body composition analyzer in a convalescent rehabilitation ward. Jpn J Compr Rehabil Sci, 14: 26-32, 2023. (IF= 0)
- 3 Hishikawa N, Toyama S, Shimahara N, Taira K, Kawasaki T, Ohashi S, Sawada K, Mikami Y. A home-based low-intensity resistance exercise programme with supervision for secondary sarcopenia in a patient with established rheumatoid arthritis: A case report. Mod Rheumatol Case Rep, 7: 354-358, 2023. (IF= 0.8)
- 4 Imashiro K, Nishioka Y, Teramura K, Hashimoto H, Kimura H, Tanabe N, Taniguchi Y, Nakai K, Umemoto Y, Ito T, Tajima F, Mikami Y. Feasibility of Seated Stepping and Handshaking as a Cardiopulmonary Exercise Testing: A Pilot Study. J Clin Med, 12: 2140, 2023. (IF= 4.964)
- 5 Kido M, Ikoma K, Kobayashi Y, Maki M, Ohashi S, Shoda K, Ichikawa D, Uehara R, Takahashi K. The inter-prefectural regional disparity

of healthcare resources and representative surgical procedures in orthopaedics and general surgery: a nationwide study in Japan during 2015– 2019. BMC Musculoskelet Disord, 12: 726, 2023. (IF= 2.2)

- 6 Mukai Y, Kawasaki T, Kamijo YI, Furusawa K, Ibusuki T, Sakurai Y, Nishimura Y, Umemoto Y, Tajima F. Renal and Endocrine Responses to Arm Exercise in Persons with Cervical Spinal Cord Injury. J Clin Med, 12: 1670, 2023. (IF= 4.964)
- 7 Tanabe N, Nishioka Y, Imashiro K, Hashimoto H, Kimura H, Taniguchi Y, Nakai K, Umemoto Y, Kouda K, Tajima F, Mikami Y. Comparative Study of Muscle Hardness during Water- Walking and Land-Walking Using Ultrasound Real-Time Tissue Elastography in Healthy Young People. J Clin Med, 12: 1660, 2023. (IF= 4.964)

(C-b) 和文原著

- 1 清水直人, 高橋孝多, 奥田求己, 宮本啓江, 久保秀一, 大橋鈴世, 近藤正樹, 三上靖夫. 多発性硬化症患者に対する歩行訓練支援ロボットの機能を活用した歩行訓練の試み. Jpn J Rehabil Med, 60 : 723-729, 2023.
- 2 外園泰崇, 生駒和也, 牧 昌弘, 城戸優充, 原 佑輔, 細川俊浩, 小林裕美子, 大橋鈴世, 高橋謙治. 強剛母趾に対して鏡視下滑膜切除術と直視下 cheilectomy を併用した術式の治療成績. 日足の外科会誌, 44 : 105-107, 2023.
- 3 蛭子拓真, 菱川法和, 沢田光思郎, 山崎泰志, 中川恵介, 櫻井桃子, 横関恵美, 前田博士, 上島圭一郎. 膝関節伸展制限に対しハムストリングスへの持続的伸張運動と振動刺激の併用療法が有効であった脳卒中患者 1 例. 理療京都, 52 : 47-51, 2023.
- 4 細川俊浩, 生駒和也, 牧 昌弘, 城戸優充, 今井 寛, 原 佑輔, 外園泰崇, 小林裕美子, 大橋鈴世, 高橋謙治. 外反母趾における第 1 足根中足関節不適合と外側趾病変の関連性. 日足の外科会誌, 44 : 122-124, 2023.
- 5 馬淵拓実, 菱川法和, 大橋鈴世, 沢田光思郎, 前田博士, 上島圭一郎. 回復期脳卒中片麻痺患者に対する随意運動介助型電気刺激を用いた自主訓練の持ち越し効果. 日生体電気刺激研会誌, 36 : 7-11, 2023.

(D) 学会発表等

I) 招待講演、特別講演、教育講演等

- 1 大橋鈴世. 教育講演 リハビリテーション医学研究発表に役立つスライドデザインの基本. 第7回日本リハビリテーション秋季学術集会, 2023, 宮崎.
- 2 沢田光思郎. 教育講演 ポリオの診療 頑張りすぎないとは何かーリハビリテーション科医がポリオ経験者から学ぶことー. 第60回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2023, 福岡.
- 3 三上靖夫. 教育講演 生活期のリハビリテーション診療・介護における連携の在り方. 第8回京都リハビリテーション医学会学術集会, 2023, 京都.
- 4 三上靖夫. 特別講演 スポーツによる脊髄損傷. 令和4年度徳島県医師会スポーツ対策委員会研修会, 2023, 徳島.
- 5 三上靖夫. 教育講演 高齢者の脊椎椎体骨折に対するリハビリテーション診療のこつ. 第14回愛知県整形外科医会リハビリテーション研究会, 2023, 名古屋.
- 6 三上靖夫. 教育講演 スポーツによる脊椎・脊髄損傷. 第30回よこはまスポーツフォーラム, 2023, 横浜.
- 7 三上靖夫. 教育講演 求められている生活を見据えた診療～リハビリテーション診療のあゆみと展望～. 京都府立医科大学脳神経内同門会講演, 2023, 京都.
- 8 三上靖夫. 教育講演 脊椎外科医とリハビリテーション科医～異なる視点と必要な連携～. 第60回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2023, 福岡.
- 9 三上靖夫. 教育講演 各論(8) 脊椎・脊髄疾患とリハビリテーション診療. 第21回日本整形外科学会脊椎脊髄病医研修会, 2023, Web 開催.
- 10 三上靖夫. 特別講演 腰痛疾患の自然経過と保存療法. 第46回明柔会学術大会, 2023, 吹田.
- 11 三上靖夫. 教育講演 求められている生活を見据えたりハビリテーション診療. 第55回中国四国リハビリテーション医学研究会・第50回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会, 2023, 徳島.

II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

- 1 山本謙吾, 渡辺雅彦, 阿部博男, 石島旨章, 内尾祐司, 湊藤啓広, 三上靖夫, 宮原寿明, 原田 繁, 三上容司, 大川 淳, 中島康晴. シンポジウム 医師偏在対策の現状と日本整形外科学会専門医制度への影響, 整形

- 外科専門医制度の現状と問題点. 第 96 回日本整形外科学会学術集会, 2023, 横浜.
- 2 三上靖夫. シンポジウム 被災地と宇宙での身体活動を科学する, 災害×宇宙 食と健康のサイエンス. 第 77 回日本栄養・食糧学会大会, 2023, 札幌.
- 3 島原範芳, 佐藤信治, 赤松和紀, 山中貴弘, 平 和晃, 菱川法和, 田中由紀, 大西亜子, 澤田直哉, 奥田恭章, 大西 誠, 遠山将吾, 佐浦隆一. シンポジウム 患者さんに寄り添う専門職医療者を目指してーRA 患者の QOL 向上を目指したリハビリテーション治療、その実態と課題ー, 登録専門職による患者対応の実際と課題. 令和 5 年度リウマチ月間講演会, 2023, 千代田区.
- 4 三上靖夫. シンポジウム 活動が育む百寿者の健康, 百寿者および超百寿者研究の展望. 第 23 回日本抗加齢医学会, 2023, 千代田区.
- 5 河崎 敬. シンポジウム 障がい者とスポーツーパラスポーツ選手の医科学サポーター, 障がい者スポーツにおけるリハビリテーション医学の貢献. 第 60 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2023, 福岡.
- 6 小川貴美子, 三上靖夫. シンポジウム 女性アスリート支援のための連携 女性アスリートと栄養女子中高生長距離選手へのアプローチ “現場の声に耳を澄ませる”, 女性アスリート支援のための連携. 第 60 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2023, 福岡.
- 7 牧 昌弘, 生駒和也, 飯沼可奈子, 原 佑輔, 小林裕美子, 細川俊浩, 外園泰崇, 大橋鈴世, 高橋謙治. パネルディスカッション PCFD 分類に基づいた手術治療ー関節固定術を中心にー, Progressive collapsing footdeformity (PCFD) 分類に基づいた成人期扁平足治療の最前線. 第 48 回日本足の外科学会学術集会, 2023, 大阪.
- 8 三上靖夫. シンポジウム 要介護 5 の実父の介護体験から人生を考える, 男女共同参画の新たな視点を目指してーリハビリテーション科医のワークライフバランス (介護編) ー. 第 7 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 2023, 宮崎.
- 9 三上靖夫. シンポジウム 施設で構成する人材育成プロジェクト, 長期宇宙滞在者を食と運動で支える専門職の人材育成プログラム. 第 69 回宇宙航空環境学会, 2023, 岐阜.

Ⅲ) 国際学会における一般発表

なし

E 研究助成（競争的研究助成金）

総額 260 万円

公的助成

代表（総額）・小計 120 万円

- 1 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C） 平成 30～令和 5 年度
サルコペニアを可視化する一拡散テンソル法を用いた骨格筋の機能描出—
助成金額 0 万円
- 2 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C） 令和 4～6 年度
高齢者の活動が健康寿命に与える影響 —京丹後長寿コホート研究か
ら— 助成金額 120 万円

分担・小計 70 万円

- 1 厚生労働省科学研究費補助金厚生労働行政推進調査事業 令和 2～5 年度
要介護者に対する疾患別リハビリテーションから維持期・生活期リハビリ
テーションへの一貫したリハビリテーション手法の確立研究
助成金額 0 万円
- 2 厚生労働省長寿科学政策研究事業 令和 5～7 年度
生活期リハビリテーションにおける介入手法の標準コードの開発研究
助成金額 70 万円

財団等からの助成

代表（総額）・小計 70 万円

- 1 公益財団法人大和証券財団 調査研究助成 令和 5 年度～
高齢消化器がん患者に対する術前入院・集学的リハビリテーション治療プ
ログラムの開発 助成金額 70 万円